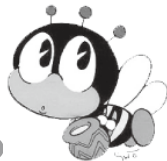


生涯学習情報



教育委員会事務局
スポーツ生涯学習課
電話 62-3111
内線 351

09.12
No.64

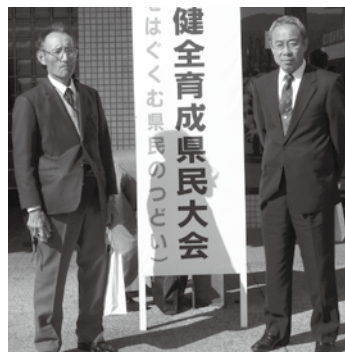


長野県青少年健全育成県民大会開催

県下各地より700名を超える関係者が集い、県民大会が11月7日に大町市文化会館で開催されました。会長（知事）代理で副知事のあいさつ、大町市長あいさつの後、功績者表彰が行われました。

飯山市からは、スポーツを通して尽力された滝沢周造さん（常盤・写真左）と、吉澤恵一さん（太田）が表彰されました。

今後、ますますのご活躍を期待しています。



第30回記念飯山市民芸術祭 参加者募集

30回を記念して展示部門、舞台部門ともに「いいやまの宝もの」を共通テーマに下記の日程で開催いたします。 大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

■開催期日及び会場

☆展示発表 平成22年4月10日（土）・11日（日） 会場 市公民館・市美術館

☆舞台部門 平成22年4月18日（日） 会場 市民会館（城山）

■申し込み期限 平成22年1月31日（日）

■問合せ先 市民芸術祭事務局 飯山市民会館内 ☎62-3341

寄稿

正受庵の名宝『坐死』に接して

胎中千枝子

萩咲きて蹴落とし坂を隠しけり

千枝子

飯山に行くとき最初に正受庵を訪れる。庵の付まいには惹かれて止まないものの、慧端禪師が亡くなる当日に残したという遺稿『坐死』のコピーが薄汚れたまま下がついていて、以前から気がかりだった。その『坐死』が、本年二月、東京国立博物館で開催された「妙心寺展」に出品された。（181道鏡慧端墨蹟遺稿 正受庵 ―目録による―）重厚で迫力ある真筆に感動し、しばし呆然となった。

美術史家・山下裕二氏は、読売新聞紙上で「白隠の慢心を戒め鍛え直した慧端禪師の書『坐死』が、今回僕にとつては最大の発見でした」と述べている。初めて門外に出た作品が、こうした評価を得て飯山に戻ったことで、高僧慧端禪師の名声が更に高まることは間違いないだろう。

正受庵をはじめとする飯山の見所については、拙書『俳句でめぐる北信濃飯山』でも紹介した。大勢の方に読んでいただければ幸甚である。

胎中さんは東京に生まれ現在も住んでおられますが、お父さんが飯山の出身であり、ご自身も戦中の2年間飯山に疎開されていたことから、飯山を愛し足を運ぶ中で、飯山に関する俳句を数多く詠まれ、発刊された句集は「ふるさと館」等で販売されています。昭和57年には、お父さんの自宅があった市ノ口の土地を飯山市に寄付してくださいました。現在は市ノ口の方々により顕徳碑が建てられているほか、ブランコ・すべり台等の遊具句碑も建立され、『玉厩苑』と名づけられています。



⑥慧端禪師の書『坐死』

享保6年10月6日晩、正受老人80歳の時、この遺稿を残して入寂した。

11月は 青少年健全育成強調月間

強調月間にあわせて市内各小・中・高校において、朝の「あいさつ・声かけ」運動を補導員・PTA・地区育成会等の皆さんにより行いました。



チーム名も新たに「飯山栄」長野県縦断駅伝競走出場

11月14日～15日の2日間にあたり、第58回長野県縦断駅伝競走が開催されました。

昨年まで「飯山下水内」として参加していた当チームですが、平成18年以降は飯山市と栄村の1市1村でチームを構成していたこともあり、本年より新たに「飯山栄」としてスタートすることとなりました。

「昨年の総合タイムを20分短縮する」という目標に向かい、5月から約半年間にわたって練習を重ねてきました。クロスカントリール走を積極的に取り入れ例年以上の走りこみを重ねたことで、10キロ超の距離を確実に走れる粘りが生まれました。

目標達成の期待が膨らみましたが、新型インフルエンザの流行などから大会直前に選手変更を行わざるを得ない状況となり、最終的

には13位という成績に終わりました。苦しい展開となりましたが、高校生3名が区間順位1ケタの好走を見せるなど、収穫もありました。

「リベンジ」の想いを胸に冬季トレーニングに励む飯山栄チーム、来年の大会が楽しみです。

栗林監督より

土砂降りの中スタートした第58回大会、2チームがタスキリレーのミスで失格となるハプニングもありましたが、皆様からのサポートと応援のおかげで飯山栄チームはフィニッシュを迎えることができました。ありがとうございました。



心強い応援団 駅伝振興会の方々



足で稼いで心でつなぐ



2区 兼子 知也 選手



2日ともスタートを務めた 服部 正秋 選手



6区 宮本 恭志 選手



フィニッシュにて、来年はとびきりの笑顔で



15区 清水 純平 選手



14区 島田 康陽 選手（栄村）